

「中核市」と「特例市」

まだ認知度が低い

政令指定都市のブランド力が低下しつつあるとは言っても、大都市の証であることには変わりはなく、地方の都市にとっては魅力的な存在であり、憧れでもある。それに比べると、政令指定都市の受け皿として創設された「中核市」、中核市に準ずる「特例市」は認知度も低く、ブランド力も乏しいような気がする。

中核市の制度は、ある程度の人口規模を有する都市に、都道府県の事務権限の一部を移譲し、行政の効率化と住民サービスの向上を図ることを目的に一九九五（平成七）年に創設された。まず宇都宮、新潟、富山、金沢、静岡、浜松、岐阜、堺、姫路、岡山、熊本、鹿児島市の十二市が中核市の名乗りを上げた。しかし、中核市の指定を受けるには、人口三十万人以上を有すること、面積が百km²であること、人口が五十万人未満の市は昼間人口が夜間人口より多いことなど、高いハードルをクリアしなければならなかった。だが、地方分権を進めていくためにも、より多くの中核市をつくることが望ましいと考えられるようになり、中核市になる要件が徐々に緩和されていった。

その甲斐あってか中核市は次第に増加していき、現在は四十一市にも上る（二〇〇九年四月一日時点）。だが、問題はそのブランド力にある。都道府県とほぼ同等の事務権限が認められている政令指定都市と違って、都道府県から移譲される権限は福祉や保健衛生、都市計画、環境保全など、中核市の事務権限の範囲は狭い。住民に身近な行政が独自にできるなどメリットは大

きいのだが、それに伴って財政負担や人材確保などの問題も新たに発生する。そうまでして中核市になるだけの魅力がないということなのだろう。中核市になる要件を備えていながら、八王子市（五十六・〇万人）や松戸市（四十七・三万人）、市川市（四十六・七万人）などのように、中核市の指定を受けていない市がいくつもあ

る。二〇〇〇年には「特例市」という制度も創設された。特例市は中核市に準ずる位置付けであり、中核市で処理できる事務の一部が都道府県から特例市に移譲される。「人口二十万人以上」が唯一の要件で、中核市より小規模の都市でも特例市の指定を受けられる。しかし、川口市（四十八・〇万人）や枚方市（四十・四万人）のように、中核市になる要件を備えていながら、特例市にとどまっている市も少なくない。中核市がいかに魅力のないものかを物語っているかのようでもある。

これから地方分権を推進させていくためにも、地方都市を大きく育て、それらの都市の行政機能を強化させていく必要があるが、それよりも中核市や特例市の魅力度、ブランド力を高めることが先決ではないかと思う。そして中核市や特例市がどのような都市なのかを、もっと多くの国民に知ってもらわなければならない。自分たちの住んでいる都市が中核市なのか特例市なのか、それすら知らない住民が多いことがそもそも問題である。

中核市や特例市のブランド力を高めるには、都道府県から移譲される事務権限の範囲を広げ、それを再考する必要もあるのではないだろうか。そうすれば、中核市や特例市になるための要件を備えていながら、その指定を躊躇する市も減少していくに違いない。住民が中核市や特例市であることを誇りに思うようになれば定住率も高まり、今よりもっと魅力的な都市になるような気がする。

* 特例市

都市名	都道府県名	人口(万人)
八戸	青森	24.5
山形	山形	25.6
水戸	茨城	26.3
つくば	茨城	20.1
高崎	群馬	36.5
伊勢崎	群馬	20.2
太田	群馬	21.3
川口	埼玉	48.0
所沢	埼玉	33.6
草加	埼玉	23.6
越谷	埼玉	31.6
春日部	埼玉	23.9
熊谷	埼玉	20.5
平塚	神奈川	25.9
小田原	神奈川	19.9
茅ヶ崎	神奈川	22.8
厚木	神奈川	22.2
大和	神奈川	22.1
長岡	新潟	28.3
上越	新潟	20.8
福井	福井	26.9
甲府	山梨	20.0
松本	長野	22.8
沼津	静岡	20.8
富士	静岡	25.3
一宮	愛知	37.2
春日井	愛知	29.6
四日市	三重	30.4
岸和田	大阪	20.1
豊中	大阪	38.7
吹田	大阪	35.4
枚方	大阪	40.4
茨木	大阪	26.8
八尾	大阪	27.3
寝屋川	大阪	24.2
明石	兵庫	29.1
加古川	兵庫	26.7
宝塚	兵庫	22.0
鳥取	鳥取	20.1
呉	広島	25.1
佐世保	長崎	25.8

* 中核市

都市名	都道府県名	人口(万人)
旭川	北海道	35.9
函館	北海道	29.4
青森	青森	31.2
盛岡	岩手	30.1
秋田	秋田	33.3
郡山	福島	38.9
いわき	福島	35.4
前橋	群馬	34.1
宇都宮	栃木	50.2
川越	埼玉	33.4
船橋	千葉	57.0
柏	千葉	38.1
横須賀	神奈川	42.6
相模原	神奈川	70.2
富山	富山	42.1
金沢	石川	45.5
長野	長野	39.9
岐阜	岐阜	41.3
豊橋	愛知	37.2
岡崎	愛知	36.4
豊田	愛知	41.2
大津	滋賀	32.4
高槻	大阪	35.2
東大阪	大阪	51.4
姫路	兵庫	53.6
尼崎	兵庫	46.3
西宮	兵庫	46.5
奈良	奈良	37.0
和歌山	和歌山	37.6
倉敷	岡山	46.9
福山	広島	45.9
下関	山口	29.1
高松	香川	41.8
松山	愛媛	51.5
高知	高知	34.9
久留米	福岡	30.6
長崎	長崎	45.5
熊本	熊本	67.8
大分	大分	46.2
宮崎	宮崎	36.7
鹿児島	鹿児島	60.4

(人口は2009年7月末現在)